

# 令和5年度特定非営利活動に係る事業報告

特定非営利活動法人 風

## 1. 事業実施の成果

新型コロナに関しては政治が経済優先へと大きく舵を切ったことから、クラスター等があってもほぼ報道や行政からは情報がなく、アフターコロナの時代に入ったことを実感しました。しかし、近隣の学校や高齢者や障害者施設等では何度もクラスターの発生があり、「だいち」でも感染によるお休みが目立つ時期がありました。感染者が欠席した際の助成等もすべて終了してしまったため、一昨年と違いコロナ感染での欠席が発生した場合は全て収入減となっています。

「だいち」は9名で活動してきました。今年度はたくさん外出活動も実施できました。

今年度も常時ホームページに毎月活動の様子等を掲載したり、新たに義務化された感染予防と災害についてのBCP(事業継続計画)についても掲載するなどして情報開示に努めました。

また3年ぶりの外部施設見学や5年ぶりの救急救命実習を実施したり、例年通りの障害者の権利擁護・虐待・身体拘束などの研修も実施するなど、職員の支援の質の向上に努めました。

## ○ヘルパー事業

### <居宅介護・行動援護・同行援護・移動支援>

居宅介護（ご自宅での支援や通院介助）は障害特性や保護者の事情等によりご利用が増えていきます。ご本人が希望される場所に外出し活動するヘルパー事業（行動援護・同行支援・移動支援）は、ご本人の余暇の充実・ストレスの軽減だけでなく、保護者の就労や介護負担軽減につながっています。現在利用されている方はほとんど成人されており、平日は15:00以降、休日は1日を通してのご利用の希望が大変多くなっております。土日は余暇利用だけでなく保護者の就労でのレスパイト目的も含んだご利用も多くなっていきます。今年度は久しぶりに2名の方と新規契約を行いました。新規のご相談だけでなく、以前契約していた方から再契約のお問い合わせをいただくこともありましたが、ヘルパー不足（募集をしても応募者がいない）や送迎が難しい（車を運転できるヘルパーが少ない）などの理由でお断りせざるを得ないことが多くなっていきます。新型コロナウイルスの影響で利用を控えていた方のご利用が少しずつ増えており、休日の利用希望は微増しています。外出先も都内を希望される方が増え、昨年度に比べると行き先も広がっています。但し、コロナ感染等でのキャンセルも多かったため、利用率は、前年度比 2.4%減

### <タイムケアサービス>

ほとんどがヘルパーの対象とならない長時間の車利用時間でした。利用率は、前年度比減 8%増

### <送迎サービス（福祉有償運送）>

ヘルパーを利用して外出される方で送迎を希望される方に風の車両を使っての送迎サービスを実施しました。安全運転と利用者さんの安全確保に努めながら送迎を実施し、事故なく1年を過ごすことができました。ご自宅以外での主な送迎先は印旛特別支援学校バス停、印旛郡通所施設（バス停も含む）、千葉市内通所施設等及び市内外の公共施設等です。利用率は、前年比 5.7%増

## ○放課後等デイサービス「だいち」

今年度の利用者数は、9名です。1名中途退所、1名中途入所がありました。

今年は、地域のイベントや他事業所が開催する行事にも参加し、地域交流を行いました。

初めて参加した、陸上自衛隊下志津駐屯地のつつじ祭りや産業まつり。コロナ前に利用していたおもちゃ図書館も再開したので遊びに行くことができましたし、児童館施設開催の秋祭りにも参加させて頂くことができました。子どもたちの反応も様々でしたが子どもたちの社会的スキルやコミュニケーション能力を発展させる機会となりチームワークを学んだり興味を広げたり創造性を刺激出来たと感じました。

### <外出活動>

主な行先は、定番の動物公園、ポートタワー、きぼーる、猪鼻城、加曾利貝塚、佐倉歴史博物館でした。四街道市内を循環する「ヨッピーバス」にも初めて乗りました。電車で成田山にも出かけました。初めての行先に不安になったり、乗り物のマナーがまだ理解できていなかったり、人の多さに驚いたりいろいろなありましたが、慣れてくると笑顔がみられましたし、いずれも安全に気をつけながら楽しくすごすことができました。

### <室内活動>

音楽に合わせて身体を動かすダンベルスケート・パラシュート・プロジェクターダンスは、協応運動が苦手な子供たちが楽しみながら体を使えるようになるために取り入れている活動です

協調性やゲーム性を意識できるポッチャ・ストラックアウト等を行い、室内でも発散できるように工夫を重ねました。また、指先のトレーニングや集中力を高められる、キャップ落とし・ビーズ通し・シール貼り・プラ板作り等も行いました。子どもたちの好きなおやつ作りも沢山行いました。(お好み焼き、焼きそばパン、クッキー、フレンチトースト、フルーチェ、ポテト、など)

### <季節行事>

今年も毎月季節を感じられるように室内装飾を一緒につくったり、七夕まつり・ハロウィン・クリスマス・節分を楽しみました。1月には初詣にも出かけ子どもたちの健康と怪我の無いよう祈願して来ました。また、お誕生会を企画し成長した喜びをみんなで祝うことで年を重ねていることを意識してもらえるように努めました。昨年同様に感染予防対策の為、職員のマスク装着とアルコール消毒を実施しました。県内のコロナ感染やインフルエンザ拡大に伴い学校等で感染されたいちを休みされるお子さんも多くでしたがクラスターで拡大することもなく無事に乗り切ることが出来ました

利用率は前年度比 3%減

## ○YPCレククラブ(制度外)

千葉県発達障害の親の会(コスモ)の高校生以上のグループ(YPC)の会員と協働しての「レククラブ」(グループ外出支援)は、4年ぶりの再開となりました。再開にあたっては消毒やマスク着用を徹底し感染症対策を行いながら、しながわ水族館・マダムタッソー東京と計2回の活動を実施致しました。風の人員配置の関係もあり、前半は活動が行えず年明けとなってしまいましたが、「楽しみにしてました!」と喜んでくれたメンバーもいたので再開できて本当によかったです。延8名が利用。

## ○その他

- ・厚生労働省のWAMNETの「障害福祉サービス等事業所情報公表システム」を改訂し公開しました
- ・風の広報活動として「風のたより」を毎月発行しました。
- ・ホームページにだいちのガイドライン(保護者向けアンケート及事業自主点検)を公開しました。
- ・ホームページに風・だいちの活動のようすと新型コロナウイルス情報を随時更新し、年間延べ2700名(前年より600名増)の方が閲覧されました。
- ・風・だいちの職員に向けて、BCP・権利擁護・虐待防止・身体拘束・施設見学・救急救命等の研修を

実施しました。詳細は研修報告一覧を参照ください。

- ・昨年の幼稚園バス園児置き去り事件を受けて設置が義務化された「こどもの安全・安心対策支援事業」を設置しました(令和5年5月中旬)

## 2. 事業実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
障害福祉サービス	・居宅介護 (身体介護・家事援助・通院介助)	随時	主に、四街道市、千葉市	原則として、1回1名、必要に応じ複数名派遣	ヘルパー派遣を必要とする身体・知的障害児者等 延212名	2,504
	・同行援護	随時	主に、四街道市、千葉市	原則として、1回1名、必要に応じ複数名派遣	ヘルパー派遣を必要とする身体・知的障害児者等 延170名	2,952
	・行動援護	随時	主に、四街道市、千葉市	原則として、1回1名、必要に応じ複数名派遣	ヘルパー派遣を必要とする身体・知的障害児者等 延844名	22,683
	・放課後等 デイサービス	月～土 (水を除く)	主に、四街道市、千葉市	利用者数に応じて2名～5名	デイサービスを希望する高校生以下の児童生徒 延1236名	14,120
地域生活支援事業	・移動支援事業	随時	主に、四街道市、千葉市	原則として、1回1名、必要に応じ複数名派遣	ヘルパー派遣を必要とする知的障害児者等 延362名	2,998
タイムケアサービス	時間単位で利用者の希望に添った支援をおこなう。必要に応じ、一時預かりをする	随時	主に、四街道市、千葉市	原則として、1回1名、必要に応じ複数名にて支援	主に、一時預かりを必要とする身体障害児者、知的障害児者等延32時間	54
YPC向けグループ外出支援	高校生以上の軽度発達障害者の外出型グループ活動のサポート	不定期	千葉県内 コスモ会員 (LD発達障害親の会)	1名～2名	YPCに所属する高校生以上の方 延8名	0
福祉有償運送(送迎サービス)	目的地までの送迎を行う	随時	主に、四街道市、千葉市	登録者7名 必要に応じて派遣	主に、送迎を希望する身体・知的障害児者等延べ632名	613